



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月10日

上場会社名 互応化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4962 URL http://www.goo-chem.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤村 春輝  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長兼総務部長 (氏名) 川尻 健生 TEL 0774-46-7777  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	3,699	△2.9	391	6.0	433	△1.6	315	5.0
28年3月期第2四半期	3,808	2.3	369	2.6	440	△1.7	300	12.7

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 209百万円 (△21.3%) 28年3月期第2四半期 266百万円 (△8.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	48.29	—
28年3月期第2四半期	45.48	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	15,454	13,404	86.5
28年3月期	15,604	13,391	85.6

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 13,372百万円 28年3月期 13,356百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

29年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 10円00銭

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,400	△0.7	770	△0.4	835	△4.0	590	△2.5	90.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	6,992,000株	28年3月期	6,992,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	461,515株	28年3月期	461,515株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	6,530,485株	28年3月期2Q	6,601,914株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、緩やかな回復基調とされながらも、実感値としての回復には停滞感がみられました。世界経済においては、米国は拡大基調に入り、欧州も持ち直しの兆しが見られるものの、ともに横這い圏内の動きに留まりました。また、中国は緩やかな減速が続き、地政学的な要因も払拭できず、全体としては、先行き不透明な状況となっております。

この様な状況の中、電子材料分野は全体的には低調な動きとなり、繊維分野も海外市場の影響を受け低迷、化粧品分野はリニューアル案件が少なく低調な推移となり、製紙印刷分野は復調傾向ながらも横這いとなりました。その他工業用分野では、水溶性ポリエステル樹脂関連分野が国内外ともに堅調、その他の分野は安定した動きとなるも、横這いに推移しました。

また、当社グループの活動状況と致しましては「人そして地球を豊かにするものを社会に提供する」ために、既存の製品やサービスだけに留まらず、新たな価値を提供出来る様に「考え抜く集団」を目指して取り組んで参りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,699百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益は391百万円（同6.0%増）、経常利益は433百万円（同1.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は315百万円（同5.0%増）の減収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (反応系製品)

反応系製品の中で繊維業界につきましては、国内市場は、衣料織物向け細番手織物の需要が一巡したこと、衣料品販売の低迷の影響を受けましたが、資材織物向けが堅調に推移し横這いとなりました。海外市場は、これまで好調を支えてきた細番手織物向けが主力の中国、韓国で生産減少の影響を受けて、低調な推移となりました。

化粧品業界につきましては、洗浄剤分野ではシャンプー・コンディショナー用添加剤用途の製品開発と拡販を積極的に進めましたが、これまでのインバウンド効果に変調が見られ、低調な推移となりました。ヘアスタイリング剤分野では積極的な樹脂開発と新規ユーザーの開拓、メーキャップ分野への展開を進めましたが、低調な推移となりました。

製紙印刷関連業界につきましては、パッケージ用途、ダイレクトメール用途の市場が底這いから持ち直しの動きもありましたが、復調の力強さに欠ける市場推移となりました。その中で既存製品の高性能化を図るとともに省エネルギーシステムに対応した高感度UVニスの開発、環境対策関連製品では水性圧着ニスの開発に注力しました。また非危険物プレスニスの販売を開始しましたが横這いの推移となりました。

そのほか、メッキ関連は、国内市場は新規開拓が進まず低調に推移し、既存ユーザー向けも市場が低調に推移したため販売が低迷しました。海外市場も国内市場と同様に販売が低迷しました。水溶性ポリエステル樹脂は、PP用、金属用など新規樹脂の開発を積極的に進め、国内市場はテキスタイル、包装、光学フィルム向けが好調に推移しました。海外市場は円高環境の中、包装用途等フィルム向けが引続き堅調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は3,113百万円（前年同期比2.7%減）、営業利益は643百万円（同3.3%減）となりました。

#### (混合系製品)

混合系製品につきましては、電子部品業界は、国内市場はLED用途、自動車関連、スマートフォン向け部品市場が好調に推移しましたが、アミューズメント関連市場は低調に推移しました。海外市場は太陽電池関連は、性能及び品質が向上し売上が増加しましたが、タッチパネル用途、LED用途は横這いに推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は586百万円（同3.4%減）、営業利益は17百万円（前年同期は営業損失21百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は15,454百万円と前連結会計年度末に比べ、150百万円減少しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ192百万円減少し10,903百万円となりました。これは、現金及び預金が105百万円、商品及び製品が80百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ41百万円増加し4,551百万円となりました。これは、無形固定資産が16百万円、投資その他の資産が14百万円それぞれ減少しましたが、有形固定資産が72百万円増加したことによるものです。

流動負債は前連結会計年度末に比べ162百万円減少し1,504百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が36百万円、電子記録債務が36百万円、未払法人税等が57百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べ1百万円減少し544百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が4百万円増加しましたが、役員退職慰労引当金が5百万円減少したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ13百万円増加し13,404百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が86百万円、その他有価証券評価差額金が16百万円それぞれ減少しましたが、利益剰余金が119百万円増加したこと等によるものです。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から178百万円減少し2,159百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は392百万円(前年同期比26.8%減)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益425百万円(同2.9%減)に対し、売上債権の増加額36百万円(同4.1%増)及び仕入債務の減少額64百万円(前年同期は増加額42百万円)、法人税等の支払額157百万円(前年同期比133.2%増)があったものの、減価償却費150百万円(同5.9%減)及びたな卸資産の減少額112百万円(前年同期は増加額22百万円)があったこと等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は327百万円(前年同期比57.0%減)となりました。これは主として、定期預金の払戻による収入3,352百万円(同17.5%増)がありましたが、定期預金の預入による支出3,436百万円(同2.5%増)及び有形固定資産の取得による支出230百万円(同9.3%減)があったこと等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は196百万円(同41.2%減)となりました。これは、主として配当金の支払額195百万円(同1.5%減)によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループにおきましては、当第2四半期の結果を踏まえ、売上高が当初計画を下回る見込みとなりましたので、通期の業績予想を下記のとおり修正いたしました。

なお、平成28年5月13日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想との差異は以下のとおりです。

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,800	790	895	625	95.70
今回修正予想(B)	7,400	770	835	590	90.35
増減額(B-A)	△400	△20	△60	△35	—
増減率(%)	△5.1	△2.5	△6.7	△5.6	—
(ご参考)前期実績(平成28年3月期)	7,448	773	869	605	92.16

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,500,181	7,394,692
受取手形及び売掛金	1,806,683	1,796,522
電子記録債権	179,253	209,244
商品及び製品	707,300	626,706
仕掛品	273,385	279,976
原材料及び貯蔵品	511,737	459,450
繰延税金資産	86,106	81,114
その他	33,276	58,091
貸倒引当金	△2,694	△2,770
流動資産合計	11,095,229	10,903,028
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,000,015	3,981,495
減価償却累計額	△3,113,177	△3,124,313
建物及び構築物(純額)	886,838	857,181
機械装置及び運搬具	6,445,171	6,278,028
減価償却累計額	△5,919,939	△5,821,034
機械装置及び運搬具(純額)	525,232	456,994
工具、器具及び備品	972,031	972,365
減価償却累計額	△812,072	△829,674
工具、器具及び備品(純額)	159,958	142,690
土地	2,067,816	2,191,865
建設仮勘定	6,157	70,021
有形固定資産合計	3,646,003	3,718,754
無形固定資産	106,561	89,882
投資その他の資産		
投資有価証券	669,979	649,545
繰延税金資産	64,825	73,376
その他	39,973	36,970
貸倒引当金	△17,969	△17,394
投資その他の資産合計	756,808	742,497
固定資産合計	4,509,373	4,551,135
資産合計	15,604,602	15,454,163

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	491,911	455,476
電子記録債務	503,472	466,598
未払金	187,831	151,027
未払費用	13,815	900
未払法人税等	169,248	111,852
賞与引当金	182,188	183,017
役員賞与引当金	30,500	15,250
その他	88,359	120,826
流動負債合計	1,667,326	1,504,949
固定負債		
役員退職慰労引当金	126,665	121,012
退職給付に係る負債	419,030	423,255
固定負債合計	545,695	544,267
負債合計	2,213,022	2,049,217
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	842,000	842,000
資本剰余金	827,990	827,990
利益剰余金	11,891,036	12,010,459
自己株式	△404,088	△404,088
株主資本合計	13,156,938	13,276,360
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	126,147	109,240
為替換算調整勘定	74,425	△11,829
退職給付に係る調整累計額	△998	△900
その他の包括利益累計額合計	199,574	96,510
非支配株主持分	35,068	32,074
純資産合計	13,391,580	13,404,946
負債純資産合計	15,604,602	15,454,163



(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	3,808,435	3,699,784
売上原価	2,394,032	2,283,340
売上総利益	1,414,403	1,416,444
販売費及び一般管理費	1,045,074	1,025,042
営業利益	369,329	391,401
営業外収益		
受取利息	5,891	4,895
受取配当金	45,640	38,683
受取ロイヤリティー	21,459	13,070
その他	4,629	3,331
営業外収益合計	77,620	59,980
営業外費用		
売上割引	5,479	5,871
為替差損	537	12,193
支払補償費	174	—
その他	298	0
営業外費用合計	6,490	18,065
経常利益	440,458	433,317
特別損失		
固定資産売却損	752	—
固定資産除却損	1,157	7,450
特別損失合計	1,910	7,450
税金等調整前四半期純利益	438,548	425,866
法人税、住民税及び事業税	199,558	104,523
法人税等調整額	△62,074	3,272
法人税等合計	137,484	107,795
四半期純利益	301,063	318,070
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	300,241	315,337
非支配株主に帰属する四半期純利益	822	2,733

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43,430	△16,906
為替換算調整勘定	9,175	△91,274
退職給付に係る調整額	—	45
その他の包括利益合計	△34,255	△108,135
四半期包括利益	266,808	209,934
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	265,481	212,218
非支配株主に係る四半期包括利益	1,326	△2,284

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	438,548	425,866
減価償却費	160,054	150,611
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,006	78
賞与引当金の増減額(△は減少)	119,739	829
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,734	△5,652
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,250	△15,250
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,713	6,607
受取利息及び受取配当金	△51,531	△43,578
為替差損益(△は益)	△1,625	16,654
有形固定資産売却損益(△は益)	752	—
有形固定資産除却損	1,157	7,450
売上債権の増減額(△は増加)	△35,180	△36,624
たな卸資産の増減額(△は増加)	△22,196	112,246
仕入債務の増減額(△は減少)	42,597	△64,491
未払金の増減額(△は減少)	30,530	△25,273
未払費用の増減額(△は減少)	△12,874	△11,077
未払消費税等の増減額(△は減少)	△57,064	21,918
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△44,384	△17,219
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△2,140	4,525
その他	△19,488	△9,880
小計	552,096	517,742
利息及び配当金の受取額	51,630	32,181
法人税等の支払額	△67,565	△157,587
営業活動によるキャッシュ・フロー	536,162	392,335
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,353,703	△3,436,758
定期預金の払戻による収入	2,853,936	3,352,433
投資有価証券の取得による支出	△3,743	△3,920
有形固定資産の取得による支出	△254,679	△230,882
有形固定資産の売却による収入	459	—
無形固定資産の取得による支出	△2,100	△694
固定資産の除却による支出	△743	△7,286
貸付けによる支出	△597	△390
貸付金の回収による収入	751	441
その他	51	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△760,368	△327,057
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△135,100	—
配当金の支払額	△198,750	△195,689
非支配株主への配当金の支払額	—	△654
財務活動によるキャッシュ・フロー	△333,850	△196,343
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,913	△47,102
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△554,142	△178,168
現金及び現金同等物の期首残高	2,757,097	2,337,189
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,202,955	2,159,020

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,200,739	607,696	3,808,435	—	3,808,435
セグメント間の内部売上高 又は振替高	91,779	—	91,779	△91,779	—
計	3,292,519	607,696	3,900,215	△91,779	3,808,435
セグメント利益 又は損失(△)	665,050	△21,615	643,435	△274,106	369,329

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△274,106千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,113,026	586,757	3,699,784	—	3,699,784
セグメント間の内部売上高 又は振替高	100,046	—	100,046	△100,046	—
計	3,213,072	586,757	3,799,830	△100,046	3,699,784
セグメント利益	643,360	17,935	661,296	△269,894	391,401

(注) 1. セグメント利益の調整額△269,894千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間に「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」を適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、セグメント利益に与える影響は軽微であります。